

野里門

野里門は姫路城の内城下町の北口である。豊臣秀吉(1537–1598)による 1581 年のお城の増改築の前からある野里町は金工の町であったことから、この名前が付いたと言われている。

かつて、堀の中のジグザグに曲がったこの地には野里門があった。この門は中庭に仕切られた観音開きの城門二つで構成されている。大きな内門の上には庫があり、そこから直角に位置する部分に東向きの外門が築かれている。このあたりにもともとあった石垣の多くは、現代の道路や建物の下に埋もれている。